

静岡大学 公開講座 2012

学びの杜へ、分け入ろう。
静岡大学がお届けする14講座。

CONTENTS

| | |
|---------------|----|
| 受講にあたって | 2 |
| 公開講座開設一覧 | 3 |
| 講座案内 | |
| 教養を高める | 4 |
| 科学・自然に親しむ | 7 |
| 身体を動かす | 12 |
| 専門性を高める | 15 |
| その他の大学開放事業 | 19 |
| 各会場へのアクセス | 25 |
| 地域に開放している学内施設 | 31 |



公開講座

静岡大学では、本学の専門的、総合的な教育・研究機能を開放することによって、地域社会に対し広く学習の機会を提供することを目的として、1978年（昭和53）より実施しています。静岡と浜松にキャンパスをもつ静岡大学の特徴を生かし、静岡県内の各地で実施しています。

静岡大学では、多種多様な公開講座を積極的に開設し、今まで以上に「社会に開かれた総合大学」をめざし、努力していきたいと考えています。

公開講座の受講にあたって

1 受講対象者

原則として、どなたでも受講できます。ただし、講座により受講対象を限定している場合がありますので、各講座の「対象」の欄をご覧ください。

2 実施会場

公開講座の会場は、講座によって異なります。各講座の「会場」の欄をご覧ください。なお、会場への交通案内については、25～30ページにまとめて掲載しています。

3 受講手続きについて

各講座へのお申し込みの後、受講料納入の方法や実施会場など、詳細について連絡を差し上げます。なお、それぞれの講座は先着順となりますので、定員に達した場合にはお断りすることもあります。予めご了承ください。

4 修了証書の授与

修了された方には静岡大学より修了証書を発行します。

5 お問い合わせについて

講座内容や、その他受講に関するお問い合わせは、各講座の「問い合わせ」欄に記載されている連絡先をお願いいたします。

2012年度公開講座一覧

| 種別 | No | 講座名 | 日程 | 回数 | ページ |
|---------------|----|---|---------|----|-----|
| 教養を高める | ① | 在宅医療・介護のこれからを考える～ 充実したネットワーク作りを目指して～ | 5～6月 | 6回 | 4 |
| | ② | 食と健康を科学する | 10月 | 3回 | 5 |
| | ③ | 情報学アラカルト講座2012 | 11月 | 1回 | 6 |
| 科学・ 自然に親しむ | ④ | 体験!大学の化学実験 | 8月 | 2回 | 7 |
| | ⑤ | 静大キャンパス探訪～静岡キャンパス の自然～ | 10月 | 4回 | 8 |
| | ⑥ | お米を食べよう!～イネの収穫・調製教室～ | 10月 | 1回 | 9 |
| | ⑦ | バイオテクノロジー体験～茎頂培養を してみよう～ | 11月 | 1回 | 10 |
| | ⑧ | 家庭果樹を楽しもう!!～果樹のせん定 教室～ | 2013年2月 | 1回 | 11 |
| 身体を動かす | ⑨ | 安心登山のための読図とナビゲーションスキル (初級編) | 5月 | 1回 | 12 |
| | ⑩ | 安心登山のための読図とナビゲーションスキル (中級編) | 9月 | 1回 | 13 |
| | ⑪ | ブローライフル&ノルディックウォーキングで里山バイアスロンと里山自然体験 | 11月 | 3回 | 14 |
| 専門性を高める | ⑫ | ダンス必修化に対応した表現運動・ダンス指導者講習会 | 7～8月 | 2回 | 15 |
| | ⑬ | 小学校外国語活動スキルアップ講座V | 8月 | 1回 | 16 |
| | ⑭ | 理科教材開発ワークショップ(理科教師向け) | 8月 | 1回 | 17 |

在宅医療・介護のこれからを考える ～充実したネットワーク作りを目指して～

Thinking about the future of home care

趣旨 医療構造改革によって「病院（施設）から在宅へ」が国の政策の中心となり、在宅で療養する患者数は今後さらに増加することが予想されます。また、在宅患者は同時に介護を受けていることも多く、医療と介護の連携も重要な課題です。病院（施設）とは異なる環境にある在宅では、ケアをする側の思いと、受ける利用者側の思いにずれが生じ、対処に困る事例がしばしば生じます。そのようなときに、どのような対応が必要とされるのでしょうか。この講座では、様々な専門家の立場から、現在の問題点と解決に向けたヒントを提示してもらいます。

日程 2012年5月22日（火）・29日（火）・6月5日（火）・12日（火）・19日（火）・26日（火）[全6回] 18:30～20:30

プログラム

第1回（5/22）「訪問看護における、他職種との連携～在宅療養を支えるための現状と課題～」
講師：医療法人社団静岡健生会訪問看護ステーションふれあい所長・大村早苗（看護・介護）

第2回（5/29）「地域包括ケアの現状と課題～人生後期の地域生活のあり方をめぐって～」
講師：社会福祉法人美芳会理事・大塚芳子（高齢者福祉）

第3回（6/5）「在宅医療・介護と成年後見制度～医療行為における「同意」の意味を考える～」
講師：法科大学院教授・宮下修一（民法）

第4回（6/12）「在宅におけるリハビリテーションの諸問題～在宅生活を支援するリハビリテーションを考える～」
講師：浜松大学保健医療学部准教授・青田安史（理学療法）

第5回（6/19）「在宅医療・介護をどう支えるか～倫理と法の観点から～」
講師：人文社会科学部研究科教授・松田 純（生命倫理学）

第6回（6/26）「家族関係と高齢者介護のゆくえん」
講師：人文社会科学部研究科教授・南山浩二（社会学）

定員 40人

対象 医療関係者、一般市民

受講料 1,800円（6回通し）

会場 アイセル21（静岡市葵生涯学習センター）
[静岡市葵区東草深町3-18]
※会場までの地図は、P29の交通案内をご覧ください。

申込先 以下のいずれかによりお申し込みください（先着順）。
 (FAX) 054-221-1758
 (往復書留) 〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1
 静岡市生涯学習推進課 宛
 ※「静岡大学公開講座希望」と明記の上、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号、年齢をご記入ください。

申込期限 5月8日（火）午後5時

問い合わせ 静岡市生涯学習推進課 ☎054-221-1207

主催 静岡大学人文社会科学部研究科臨床人間科学専攻

共催 静岡市生涯学習推進課、NPO法人ヒューマン・ケア支援機構

後援 静岡県教育委員会

食と健康を科学する

Science Café concerning Food and Health

趣旨 食と健康はわれわれにとってもっとも身近な関心事ですが、同時に様々な情報が氾濫しているテーマでもあります。本講座では、食とそれが健康にもたらす影響について自分なりに考え判断する材料として、これらのテーマに取り組む本学研究者の研究成果をお伝えします。

日程 2012年10月13日(土)・20日(土)・27日(土) [全3回]
14:00~16:00

プログラム 第1回(10/13)「食の安全・安心を考える」
講師：教育学部准教授・竹下温子(栄養学、食品衛生学)
第2回(10/20)「食とバイオサイエンス」
講師：理学部准教授・木寄暁子(植物分子生物学)
第3回(10/27)「食物繊維の効能～免疫とアレルギー～」
講師：農学部助教・日野真吾(食品栄養化学、生化学)

定員 50人

対象 一般市民

受講料 無料

会場 沼津市民文化センター [沼津市御幸町15-1] (予定)
※会場までの地図は、P30の交通案内をご覧ください。

申込先 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

(FAX) 054-238-4295

(メール) LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学生涯学習教育研究センター宛

※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、講座名を明記してください。

申込期間 9月3日(月)～10月5日(金)

問い合わせ 静岡大学生涯学習教育研究センター ☎054-238-4817

主催 静岡大学生涯学習教育研究センター

共催 コープしずおか

後援 静岡県教育委員会

情報学アラカルト講座2012

à la carte informatics course 2012

趣旨 ■ 静岡大学情報学部では2012年11月10日、11日に開催される「テクノフェスタ in 浜松」に合わせて、公開講座を企画しております。情報学部の研究と教育の特性を活かし、「情報学」に関する旬のテーマを情報学部の教員が独特の切り口で論じる、1回完結型のアラカルト講座です。興味・関心に応じて、3つの講座から1つの講座をお選びいただけます。

日程 ■ 2012年11月10日(土) 10:30~12:00

プログラム ■ ①「情報化時代における教養の崩壊について」
講師：情報学部教授・中尾健二（ドイツ現代思想）
②「アンケート調査の結果はどの程度信用できるのか？」
講師：情報学部教授・山田文康（データ科学）
③「よりよい学びのための情報学」
講師：情報学部教授・小西達裕（知識工学・教育工学）

定員 ■ 各講座50人

対象 ■ 興味のある方なら誰でも

受講料 ■ 無料

会場 ■ 静岡大学浜松キャンパス [浜松市中区城北3-5-1]
※会場までの地図は、P27の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください（先着順）。
(FAX) 053-478-1579
(メール) chiiki-megumi@ml.inf.shizuoka.ac.jp
※氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、講座名を第2希望まで明記してください。
※会場に駐車場はございませんのでご注意ください。

申込期間 ■ 10月1日(月) ~10月31日(水)

問い合わせ ■ 静岡大学情報学部地域連携推進室 ☎053-478-1579

主催 ■ 静岡大学情報学部地域連携推進室

後援 ■ 静岡県教育委員会

体験!大学の化学実験

Chemical Experiment Open to Citizen

趣旨 一般の市民を対象に、中学や高校では行われていない化学実験を、実際に体験できる場を設けます。地元市民に当大学の研究教育活動に触れることができる機会を設け、特に、中高校生に、科学への興味を喚起することを目的とします。

日程 2012年8月4日(土)・8月5日(日) [全2回]
10:00~16:00

プログラム 第1回(8/4)「色素の化学実験」
第2回(8/5)「光る物質の合成」

講師 機器分析センター准教授 近藤 満(錯体化学)

定員 20人

対象 中学生以上

受講料 無料

会場 静岡大学静岡キャンパス
理学部化学科学生実験室(共通教育C棟205北)
[静岡市駿河区大谷836]
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

(FAX) 054-238-4295

(メール) LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学生涯学習教育研究センター宛

※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、生徒の場合は学年、講座名を明記してください。

申込期間 6月1日(金)~8月1日(水)

問い合わせ 静岡大学生涯学習教育研究センター ☎054-238-4817

主催 静岡大学生涯学習教育研究センター

後援 静岡県教育委員会

静大キャンパス探訪 ～静岡キャンパスの自然～

Nature Tour in Shizudai Campus

趣旨 ■ 静岡大学の静岡キャンパスは有度山西麓のユニークな地質条件に立地し、豊かな自然がいたるところにあります。静岡大学キャンパスミュージアムでは、こうしたキャンパス資源を教育や地域との連携に生かすことを視野に、生物調査などを実施してきました。この講座では、本学の教員を講師として、キャンパスの自然を現地で見学しながら、調査研究の成果を紹介します。なお、雨天時はキャンパスミュージアム内でスライドや標本の観察をおこなうながら実施します。

日程 ■ 2012年10月6日(土)、10月13日(土)、10月20日(土)、10月27日(土) 10:00～12:00 [全4回]

プログラム ■ 第1回(10/6)「有度山西麓の地質と環境のなりたち」
講師：理学部教授・和田秀樹(地球化学)
第2回(10/13)「静大キャンパスの植物環境」
講師：理学部准教授・徳岡 徹(環境応答学)
第3回(10/20)「静大キャンパスの動物」
講師：農学部学術研究員・加藤英明(保全生態学)
第4回(10/27)「キャンパス内に実る多様な木の実・草のタネ」
講師：教育学部教授・小南陽亮(植物生態学)

定員 ■ 20人

対象 ■ 一般市民、学生、小中高生 (中学生以下は保護者同伴)

受講料 ■ 無料

会場 ■ 静岡大学静岡キャンパス [静岡市駿河区大谷836]
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
(FAX) 054-238-4312
(メール) kenkyu2@adb.shizuoka.ac.jp
(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学研究協力課研究支援係宛
※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、講座名を明記してください。

申込期間 ■ 8月1日(水)～9月28日(金)

問い合わせ ■ 静岡大学研究協力課研究支援係 ☎054-238-4264

主催 ■ 静岡大学キャンパスミュージアム

後援 ■ 静岡県教育委員会

お米を食べよう！

～イネの収穫・調製教室～

Harvesting and processing classroom of rice

趣旨 お米が食べられるまでには、たくさんの工程があります。本講座では、イネを収穫し、その後脱穀、籾摺り、米選を行い、玄米にします。玄米は精米の後、炊飯してやっと「ごはん」になります。本講座を通してもっとお米のことを知ってもらい、そしてもっと食べてもらうことを目的に行います。

日程 2012年10月20日(土) 9:00～12:00

講師 農学部助教 浅井辰夫(作物栽培学)
農学部技術専門職員 西川浩二

定員 20人

対象 小学生以上

受講料 1,000円

会場 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
藤枝フィールド[藤枝市仮宿63]
※会場までの地図は、P28の交通案内をご覧ください。

申込先 以下のいずれかによりお申し込みください(応募多数の場合、抽選とさせていただきます)。

(FAX) 054-644-4641

(メール) nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒426-0001 藤枝市仮宿63

静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター事務室宛 ※葉書の場合、10月2日(火)必着
※氏名(ふりがな)、年齢(学年)、郵便番号、住所、性別、電話番号、FAX、メールアドレス、講座名を記載してください。

申込期限 10月2日(火)まで

問い合わせ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
☎054-641-9500(センター事務室)

主催 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

後援 静岡県教育委員会

バイオテクノロジー体験 ～茎頂培養をしてみよう～

Experience of Biotechnology : Let's try Shoot-tip Culture

趣旨 ■ 近年、遺伝子組み換えやクローン牛誕生などのバイオテクノロジー（バイテク）が新しい科学技術として話題となっています。しかし、我々は昔から、酒・味噌・ヨーグルトなどの製造にバイテクを利用してきました。この講座では、園芸の分野で行われている組織培養による苗の繁殖技術を学び・体験することで、この古くて新しいバイテクを身近なものとして実感してもらいます。併せて、農業の世界での新しい技術への取り組みの状況について理解する機会とします。

日程 ■ 2012年11月3日（土）10：00～12：30

講師 ■ 農学部准教授・河原林和一郎（花卉園芸学）

定員 ■ 10人

対象 ■ 中学生以上

受講料 ■ 800円

会場 ■ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
藤枝フィールド [藤枝市仮宿63]
※会場までの地図は、P28の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください（先着順）。

FAX 054-644-4641

メール nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp

葉書 〒426-0001 藤枝市仮宿63

静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター事務室宛

※氏名（ふりがな）、年齢（学年）、郵便番号、住所、性別、電話番号、FAX、メールアドレス、講座名を記載してください。

申込期限 ■ 10月17日（水）まで

問い合わせ ■ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
☎054-641-9500（センター事務室）

主催 ■ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

後援 ■ 静岡県教育委員会

家庭果樹を楽しもう!!

～果樹のせん定教室～

Pruning classroom of fruit tree

趣旨 ■ 果樹のせん定は難しそうなイメージがあると思いますが、一度基本を習得すればあとはどんな果樹でもせん定ができるようになります。本講座では、果樹のせん定の基本的な知識と技術の習得を目標に行います。

日程 ■ 2013年2月27日(水) 9:00～12:00

講師 ■ 農学部助教 八幡昌紀(果樹園芸学)
前農学部教授 高木敏彦(果樹園芸学)
農学部技術専門員 増田幸直
農学部技術専門職員 成瀬博規

定員 ■ 15人

対象 ■ 高校生以上

受講料 ■ 1,500円

会場 ■ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
藤枝フィールド[藤枝市仮宿63]
※会場までの地図は、P28の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(応募多数の場合、抽選とさせていただきます)。

(FAX) 054-644-4641

(メール) nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒426-0001 藤枝市仮宿63

静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター事務室宛 ※葉書の場合、1月25日(金)必着
※氏名(ふりがな)、年齢(学年)、郵便番号、住所、性別、電話番号、FAX、メールアドレス、講座名を記載してください。

申込期間 ■ 2012年11月5日(月)～2013年1月25日(金)

問い合わせ ■ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
☎054-641-9500(センター事務室)

主催 ■ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

後援 ■ 静岡県教育委員会

安心登山のための読図と ナビゲーションスキル (初級編)

Basics of navigation and map reading skill

趣旨 ■ より安全で確実な登山のために地図読みを学びたい登山者を対象に、基礎的な読図の方法やコンパスの利用の仕方を学びます。

日程 ■ 2012年5月27日(日) 9:30~16:00

講師 ■ 教育学部教授 村越 真(野外活動)
オリエンテーリング日本代表選手 小泉成行(野外活動)

定員 ■ 25人

対象 ■ 登山・アウトドア活動を行う一般市民

受講料 ■ 3,000円

会場 ■ 静岡大学静岡キャンパス [静岡市駿河区大谷836]
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

(FAX) 054-237-6347

(メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学教育学部総務係宛

※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、性別、講座名を明記してください。

申込期限 ■ 5月15日(火) まで

問い合わせ ■ 静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422

主催 ■ 静岡大学教育学部

共催 ■ 特定非営利法人M-nop

後援 ■ 静岡県教育委員会

安心登山のための読図と ナビゲーションスキル (中級編)

Improving your navigation and map reading skill

趣旨 ■ 地形図について基礎知識がある登山者を対象に、より安全で確実なナビゲーションを行うための実践的な技術を伝授します。足久保方面の3時間くらいの山道を対象に、地図読みのポイント、現在地把握やルート維持などの実践的な方法に取り組みます。

日程 ■ 2012年9月15日(土) 9:30~16:00

講師 ■ 教育学部教授 村越 真 (野外活動)
プロアドベンチャーレーサー 宮内佐季子 (野外活動)

定員 ■ 15人

対象 ■ 登山・アウトドア活動を行う一般市民

受講料 ■ 4,000円

会場 ■ 屋外 (詳細については受講者にお知らせします)

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください (先着順)。

(FAX) 054-237-6347

(メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学教育学部総務係宛

※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、性別、講座名を明記してください。

申込期間 ■ 7月2日(月) ~8月31日(金)

問い合わせ ■ 静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422

主催 ■ 静岡大学教育学部

共催 ■ 特定非営利法人M-nop

後援 ■ 静岡県教育委員会

ブローライフル&ノルディックウォーキングで 里山バイアスロンと里山自然体験

SATOYAMA Biathlon with Blow Rifle & Nordic Walking and Communing with SATOYAMA

趣旨 本講座ではノルディックウォーキングとブローライフルをバイアスロンのように体験しながら、健康・スポーツ科学および生物環境科学の面白さを学び、身体の内外的環境改善から自身の健康を考えることを目的とします。ブローライフルとは吹き矢に似ていますが、矢のかわりに屋外でも楽しめるように安全設計されたブローボールを的に吹き飛ばすゲームです。講座は全3回行い、参加者が自宅でもトレーニングを実践できるノルディックエクササイズからノルディックウォーキング&ブローライフルの楽しさを体感しましょう。また、運動エリアは主に教育学部自然観察実習地を基点とした静岡大学周辺の里山とし、里山の自然環境や食の安全についても学びます。さらに、里山で取れる山菜などを実際に食す機会も設け、講師と参加者が健康について座談します。

日程 2012年11月5日(月)、11月12日(月)、11月19日(月)
9:30~12:00 [全3回]

プログラム 第1回(11/5)「大人の体カテストとノルディックウォーキング入門」
第2回(11/12)「ノルディックウォーキング&ブローライフルと里山」
第3回(11/19)「里山でバイアスロンと秋味の楽しみ方」

講師 教育学部教授 杉山康司(スポーツ生理学):全回
教育学部准教授 祝原 豊(スポーツ生理学):全回
名誉教授 中野偉夫(健康運動学):第3回
沼上資源循環センター啓発施設 重岡廣男(環境再生科学):第2・3回

定員 27人

対象 メディカルチェックで運動制限されていない健康な方(申し込み時に年齢、性別、運動歴を記入)

受講料 5,000円(3回通し)

会場 静岡大学静岡キャンパスおよび周辺、体育館または合宿所
[静岡市駿河区大谷836]
※第1回集合場所は、静岡大学体育館2階アリーナとなります。
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
(FAX) 054-237-6347
(メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp
(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
静岡大学教育学部総務係宛
※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、性別、運動歴、講座名を明記してください。

申込期限 10月22日(月)まで

問い合わせ 静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422

主催 静岡大学教育学部

後援 静岡県教育委員会

ダンス必修化に対応した 表現運動・ダンス指導者講習会

Teaching Methods of dance in physical education

趣旨 ■ いよいよ、中学校保健体育においてダンスが必修化となりました。授業に取り組むに際し、疑問や悩みをお持ちの先生方もいらっしゃるのではないのでしょうか。第1回目の講座では、学習指導要領作成者でもある村田芳子先生をお招きし、ダンス授業法に関する講演、実技ワークショップを行います。第2回目の講座では、実技ワークショップに合わせ、単元計画・指導案作成など、具体的な作業を行います。また、静岡大学教育学部附属島田中学校でのダンス授業実践のご紹介もいたします。ダンスを頭と体で体感していただくとともに、すぐにでも取り組めるダンス授業、その指導法を提案します。

日程 ■ 2012年7月27日(金)、8月3日(金) 10:00~16:00

プログラム ■ 第1回(7/27)
「ダンスの世界へスイッチ・オン!子どもを本気にさせるつぼ」
講師:筑波大学教授・村田芳子(舞踊教育)
教育学部助教・山崎朱音(舞踊教育)
第2回(8/3)
「子どもをその気にさせるダンス授業の教材づくりと指導法」
講師:教育学部助教・山崎朱音(舞踊教育)
附属島田中学校教諭・下村和敏(体育授業研究)

定員 ■ 50人

対象 ■ 静岡県内の小・中・高等学校教員

受講料 ■ 第1回:1,000円、第2回:500円

会場 ■ 第1回:静岡県男女共同参画センターあざれあ [静岡市駿河区馬淵1-17-1]※会場までの地図は、P30の交通案内をご覧ください。
第2回:静岡大学大学会館ホール [静岡市駿河区大谷836]
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
(FAX) 054-238-1071
(メール) kondo@certd.ed.shizuoka.ac.jp
(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
静岡大学教育学部附属教育実践総合センター宛
※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、講座名、
現在所属している校種を明記してください。

申込期限 ■ 7月20日(金)まで

問い合わせ ■ 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター
☎054-238-1071

主催 ■ 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター

後援 ■ 静岡県教育委員会

小学校外国語活動 スキルアップ講座Ⅴ

A Skills Workshop for Foreign Language Activities at
Elementary Schools Ⅴ

趣旨 ■ 2011年度から、小学校高学年で外国語活動が領域として必修となりました。教材・教具等の効果的な活用法、先進校の授業研究、発展的な活動例、教室で使う英語表現、クラスルームマネジメントスキルなどについて学び、考え、演習を行います。また、小学校外国語活動を受けての効果的な小中連携についても考えます。

日程 ■ 2012年8月17日(金) 10:00~16:00

テーマ ■ 小学校外国語活動の理論と実践

講師 ■ 教育学部教授・矢野 淳(英語教育学)

定員 ■ 25人

対象 ■ 静岡県内の小・中・特別支援学校教員

受講料 ■ 500円

会場 ■ 静岡大学静岡キャンパス 教育学部附属実践総合センター3階
実習室 [静岡市駿河区大谷836]

※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

(FAX) 054-238-1071

(メール) kondo@certd.ed.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学教育学部附属教育実践総合センター宛

※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、講座名を明記してください。

申込期限 ■ 8月10日(金) まで

問い合わせ ■ 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター

☎054-238-1071

主催 ■ 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター

共催 ■ 静岡市教育委員会

後援 ■ 静岡県教育委員会

理科教材開発ワークショップ

(理科教師向け)

Workshop to develop science education aids (for teachers of science)

趣旨 ■ 中学、高校の理科の先生が授業に使う予定の教材開発をサポートする企画です。教材会社で売っていない様な演示実験装置、説明パネルの開発をします。学生に配布する教材の開発などです。テーマは、参加の個々の教師が提案し、各教師が異なった教材を開発します。講師が計画に対する助言をします。1日で終了しない場合は、個別に連絡体制を取り、大学に来て開発を続けることは可能です。必要材料は本人負担とします。開発終了後にレポートを提出してもらいます(1名以上の応募で実施)。

日程 ■ 2012年8月1日(水) 10:00~16:00

講師 ■ 理学部教授・三重野 哲(実験物理学)

定員 ■ 10人

対象 ■ 中学、高校の理科の先生

受講料 ■ 無料

会場 ■ 静岡大学静岡キャンパス 理学部A棟5階523室
[静岡市駿河区大谷836]

※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

電話 054-238-4715 (理学部総務係)

メール rigaku-s@adb.shizuoka.ac.jp

※理学部総務係に電話連絡後、メールにてお申し込みください。

申込期間 ■ 6月1日(金) ~7月18日(水)

問い合わせ ■ 静岡大学理学部総務係 ☎054-238-4715

主催 ■ 静岡大学理学部

後援 ■ 静岡県教育委員会

その他の 大学開放事業

静岡大学では、公開講座以外にも、それぞれの学部などで市民向けのさまざまな催しをおこなっています。

ここでは、理学部のサイエンスカフェと、工学部の浜松RAIN房、そして生涯学習教育研究センターの読売新聞連続市民講座、市民開放授業の取り組みを紹介します。

それ以外の活動については、地域連携協働センターのWebサイトで随時紹介していますので、詳しくは下記URLをご覧ください。

<http://www.crc.shizuoka.ac.jp/>

サイエンスカフェ in 静岡

サイエンスカフェ in 静岡は、静岡大学で最先端の研究を展開している研究者を講師に迎え、サイエンスの話を聴きながらコーヒーを楽しむカフェとして、2006年12月にオープンしました。

くつろいだ雰囲気の中で、最先端の科学の話題に耳を傾けていただければと思います。コーヒーとお茶、お菓子を用意してお待ちしております。

■第63話「「きょうだい」はなぜ違う?～生物多様性を生み出す遺伝のメカニズム～」

日時：2012年4月19日(木) 18:00～19:30

講師：山本 歩(理学部化学科)

概要：同じ親から生まれたのものに関わらず、「きょうだい」はどこか違います。この「違い」を生み出す遺伝のメカニズムについて、細胞内のDNAの動きを見る技術の進歩によって明らかとなってきた最近の知見を含め、わかりやすく紹介します。

■第64話「超弦理論で解き明かす宇宙誕生の謎」

日時：2012年5月24日(木) 18:00～19:30

講師：土屋 麻人(理学部物理学科)

概要：宇宙はどのように始まったのか。私達はなぜ3次元の空間に住んでいるのか。みなさんが抱くこうした素朴な疑問に答えるために、ものの最小単位を「弦(ひも)」とする超弦理論でビッグバン以前の宇宙を探ります。

■第65話「静岡流!!自然エネルギーの地産地消」

日時：2012年6月21日(木) 18:00～19:30

講師：木村 浩之(理学部地球科学科)

概要：静岡県中西部は付加帯という厚い堆積層からなり、その地下深部にはメタンや水素ガスを生成する有益な細菌がたくさん生息しています。このような地下圏の微生物を利用した新規のエネルギー生産について、地球科学と微生物学の観点からお話しします。

申込不要・参加無料

時間：18:00～19:30

会場：ペガサート6階 静岡市産学交流センター(B-nest) プレゼンテーションルーム

※会場までの地図は、P29の交通案内をご覧ください。

主催：静岡大学理学部

■お問い合わせ

サイエンスカフェ5代目店主 阪東一毅

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学理学部内

E-mail : sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp

<http://www.shizuoka.ac.jp/rigaku/sciencecafe/>

浜松RAIN房

ものづくり理科地域支援ネットワーク

■浜松RAIN房とは

地域ぐるみで「ものづくり・理科教育」を支援していくネットワークです。

静岡大学工学部を中心に、市、浜松商工会議所、地元企業、市民グループなどとの連携を広げ、このネットワークで地域のイベントや講座などへの支援を行っていきます。

■浜松RAIN房のネットワーク

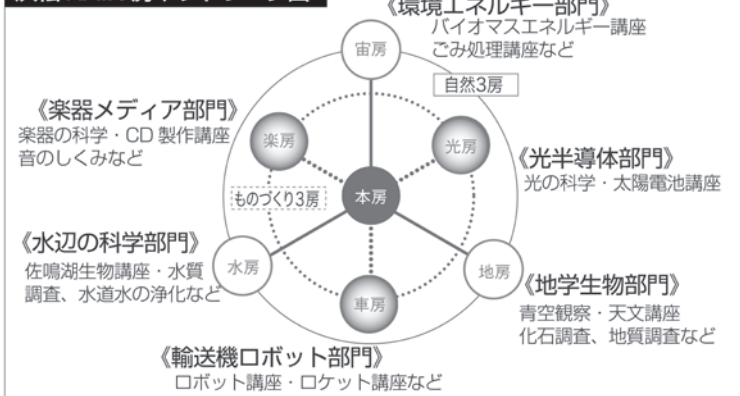
ものづくり3房（車房・楽房・光房）、自然3房（水房・地房・宙房）と本房の7つの房で構成されます（下図参照）。名称は、虹色の7色にかけて『レインボウ』としています（房＝クラスター：ネットワークのグループ）。RAIN房の『RAIN』は、RAIN=RApport between Industry & Nature（産業と自然との協調関係）をあらわしています。

■どんなことをするの？

浜松RAIN房では、ネットワークに連携する団体の情報を集約・発信するとともに、各地域でのイベント（ものづくり講座や理科実験）に教材の提供や講師の派遣などを行い、理科教育を身近に感じていただく活動を展開していきます。浜松RAIN房のホームページには、この地域で行われるものづくり・理科教室等の情報が掲載されています。ぜひご覧ください。

浜松RAIN房ホームページ：<http://train1.eng.shizuoka.ac.jp>

浜松RAIN房ネットワーク図



■お問い合わせ

浜松RAIN房

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学工学部内

☎053-478-1759/FAX053-478-1759

E-mail : trainbow@ipc.shizuoka.ac.jp

<http://train1.eng.shizuoka.ac.jp/>

静岡大学・読売新聞連続市民講座 「〈いのち〉に挑む最前線」

| 回 | 実施日 | タイトル | 講師 |
|---|-------------|---|------------------|
| 1 | 5/26 (土) | 寿命のない生き物が地球を変える、 支える | 加藤憲二 (理学部教授) |
| | | 細菌は地球上に最初に登場し、地球環境を変えながら地球上のあらゆる場所に分布しています。そして彼らには寿命という概念が当てはまりません。生命とは何か、ここから考えてみます。 | |
| 2 | 6/23 (土) | 正義論と生命倫理 | 石井 潔 (理事・副学長) |
| | | サンデルの「ハーバード白熱教室」を通じて日本でも注目されている正義論の観点から、遺伝子操作や臓器移植といった生命倫理の問題について考えてみたいと思います。 | |
| 3 | 7/21 (土) | 共生するいのち～微生物にみる生命 の生き残り戦略～ | 鮫島玲子 (農学部准教授) |
| | | 微生物が植物や動物と互いに利益を得ながら生きる相利共生について紹介します。相利共生の多くは何百万年も前に起源をもち、時間とともに共に進化し依存しあう関係も生み出しています。 | |
| 4 | 8/25 (土) | 終末期医療におけるいのちとこころ | 笠井 仁 (人文社会科学部教授) |
| | | 人はいのちが尽きようというときに際して、さまざまな思いがこころの中にめぐりくることとなります。死に向き合う人々のいのちとこころのありようについて考えます。 | |
| 5 | 9/29 (土) | 〈弱さ〉という絆とコミュニティ～病 いの経験を物語ることの意味～ | 南山浩二 (人文社会科学部教授) |
| | | こころ・いのちをめぐる病いに直面している人々は、他者の支援を必要とする人たちであるが、他方、彼らが語る病いの経験の物語は、他者の支えとなり、やがてはわたしたちの地域社会に豊かな人間関係を築くことがある。実践例もふまえながら、〈弱さ〉という絆を媒介としたコミュニティの可能性を模索したい。 | |

時 間：14:00～16:00

会 場：静岡市産学交流センター (B-nest) 6階 プレゼンテーションルーム
※会場までの地図は、P29の交通案内をご覧ください。

参加費：無料

主 催：静岡大学生涯学習教育研究センター、読売新聞東京本社静岡支局

■お申し込み

以下のいずれかによりお申し込みください (先着順)。

☎ (FAX) 054-252-0310

✉ (メール) shizuoka@yomiuri.com

〒 (葉書) 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-22 読売ビル3F

読売新聞静岡支局 静大市民講座係

※氏名 (ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、参加される回を明記してください。

市民開放授業

■市民開放授業とは？

静岡大学の学生が受講している正規の科目を、一般市民の方に開放するものです。従来からある聴講生や科目等履修生制度とは違い、単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。受講料は、半期14回で9,200円です。

■どんな科目が開放されているの？

2011年度は、下の表のとおり、前後期あわせて479科目が公開され、受講者数は250人を超えました。人文学部・理学部・教育学部・農学部（以上静岡キャンパス）、工学部・情報学部（以上浜松キャンパス）という本学の学部構成に応じて、さまざまな分野の科目が公開されています。

| 開講科目数 | | | 受講者数 | | |
|-------|-----|-----|------|-----|-----|
| 前期 | 後期 | 合計 | 前期 | 後期 | 合計 |
| 239 | 240 | 479 | 150 | 124 | 274 |

■どんなメリットがあるの？

正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。また、構内の生協（食堂・書店など）を利用することができますし、附属図書館も自由に利用することができます。

■どうすれば受講できるの？

毎年、3月下旬（前期分）、9月下旬（後期分）に静岡と浜松で事前説明会を行っています。詳しくはお問い合わせください。

それぞれの授業の初回は、試聴期間として、自由に聴講することができますようになっていますので、難易度や雰囲気を知ることができます。

■お問い合わせ

市民開放授業全般について

生涯学習教育研究センター

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
TEL:054-238-4817 FAX:054-238-4295
e-mail : LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

授業関係について

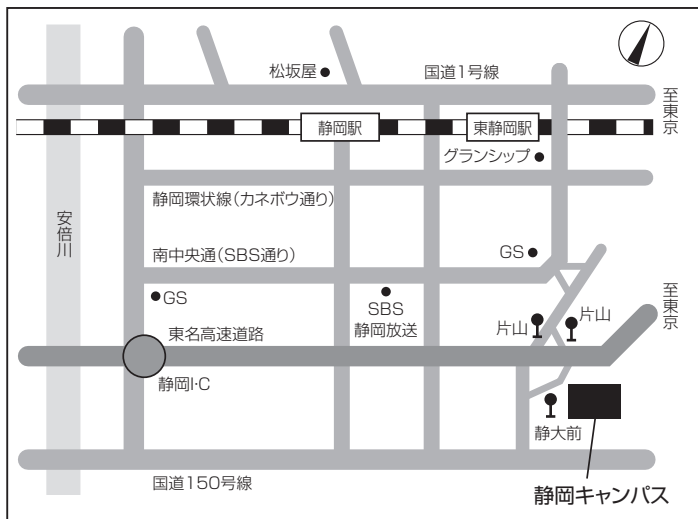
教務課教育企画係

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
TEL:054-238-4252 FAX:054-238-5347

各会場への アクセス

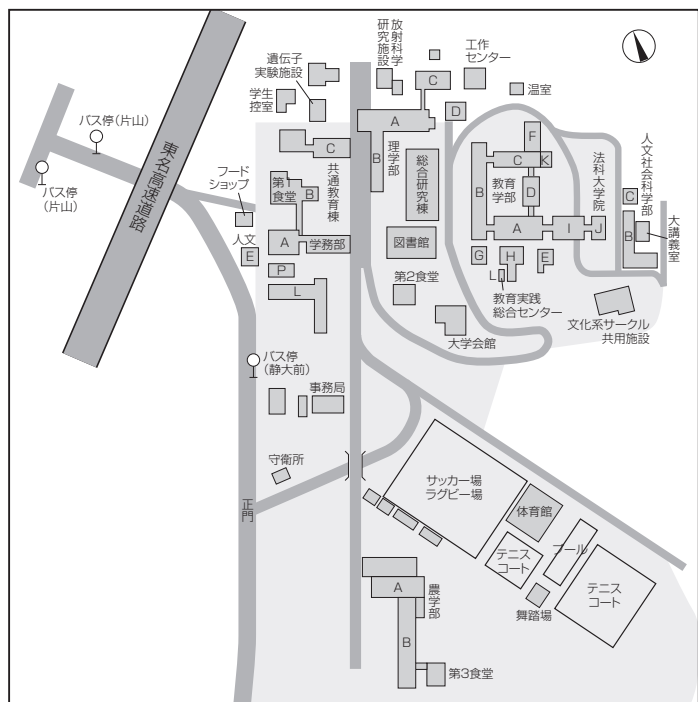
■静岡大学静岡キャンパス

所在地：静岡市駿河区大谷836



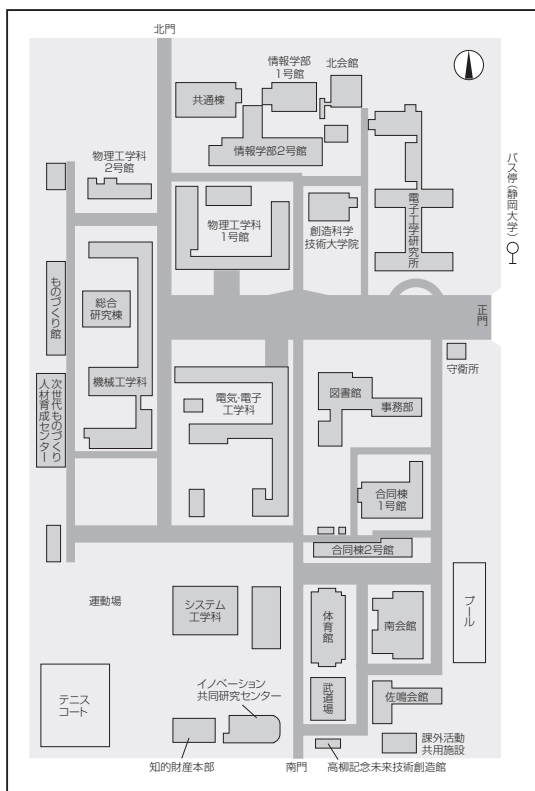
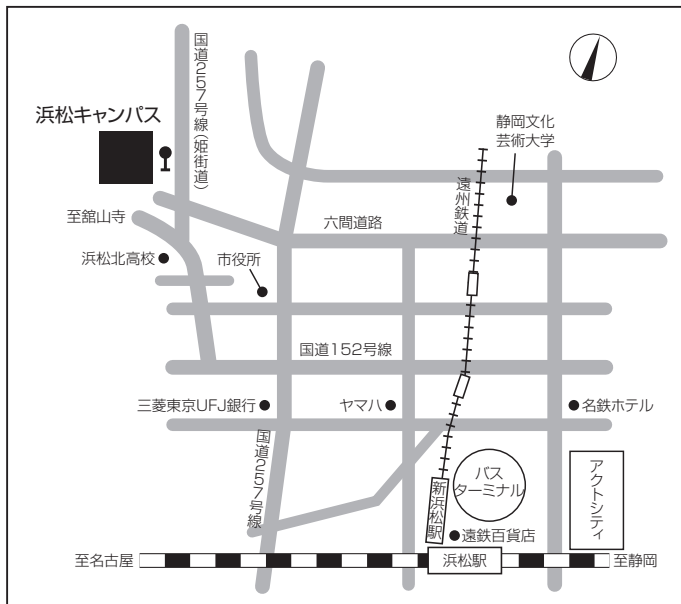
交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス8番乗り場から、「静岡大学」または「東大谷」行きに乗車し、「静大前」または「片山」バス停下車（所要時間約25分、1時間に5～7本運行）。※静岡駅午後発の「東大谷」行きバスは「静大前」バス停を経由しないため、「片山」バス停で降りてください。「片山」バス停は2ヶ所ありますのでご注意ください。
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。



■静岡大学浜松キャンパス

所在地：浜松市中区城北3-5-1

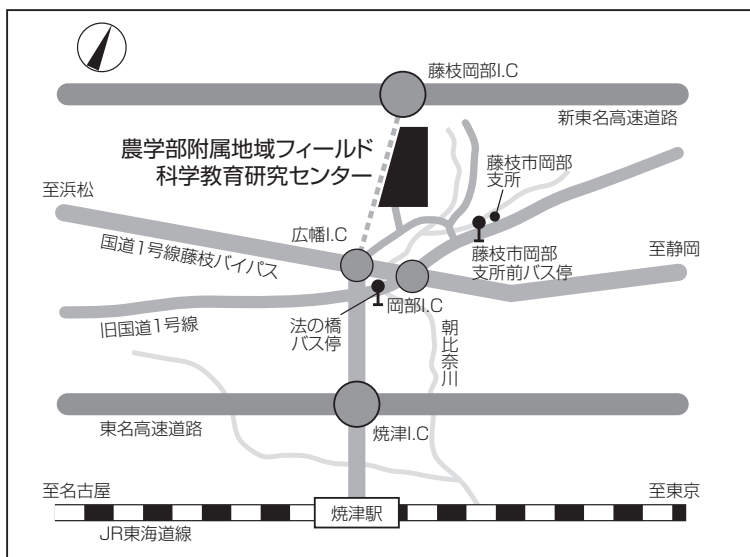


交通案内

1. JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車し(全路線)、「静岡大学」バス停下車(所要時間約20分、1時間に10本程度運行)。
2. JR浜松駅からタクシーで約10分。

■静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

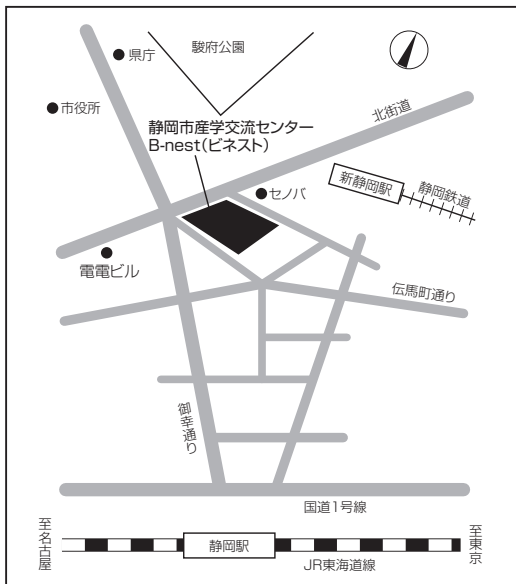
所在地：藤枝市仮宿63



交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス7番乗り場から、「藤枝駅前行き」に乗車し、「藤枝市岡部支所前」または「法の橋」バス停下車徒歩20分（バス所要時間約40分）。
2. JR藤枝駅しずてつジャストラインバス2番乗り場から「新静岡バスターミナル行き」に乗車し、「藤枝市岡部支所前」または「法の橋」バス停下車徒歩20分（バス所要時間約20分）。
3. JR焼津駅からタクシーで約15分。
4. 東名高速道路焼津インターより車で約10分、国道1号線藤枝バイパス広幡インターより車で約5分。

■静岡市産学交流センター (B-nest)

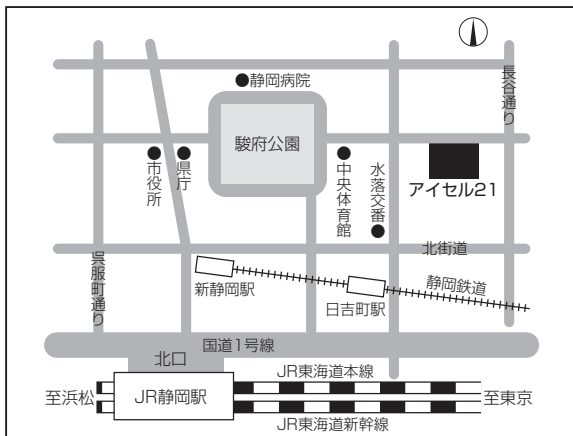


所在地：
静岡市葵区御幸町3-21

交通案内

JR静岡駅北口から徒歩5分（ペガサート6～7階）

■アイセル21 (静岡市葵生涯学習センター)



所在地：静岡市葵
区東草深町3-18

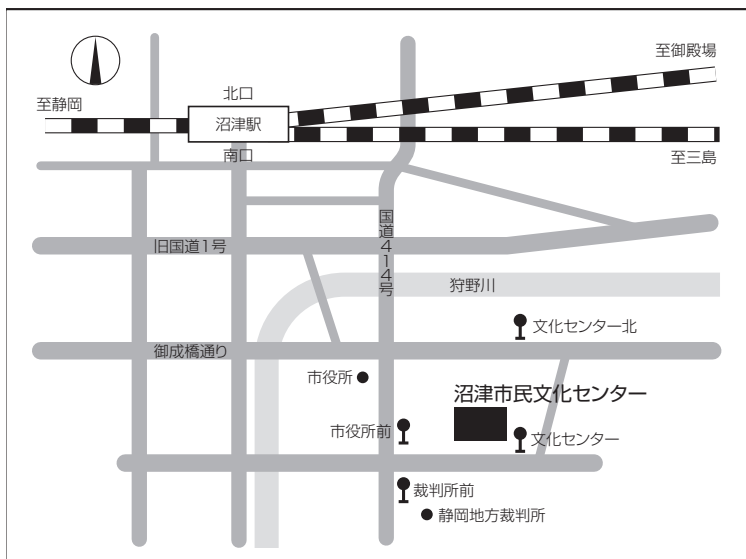
交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストライン10番乗り場から、「県立総合病院行き」（県立病院高松線）に乗りし、「アイセル21」バス停下車。
2. JR静岡駅北口しずてつジャストライン10番乗り場から、「駿府浪漫バス」に乗りし、「中央公民館前」バス停下車。
3. JR静岡駅北口より徒歩30分。
4. 静鉄新静岡駅より徒歩20分。
5. 静鉄日吉町駅より徒歩15分。

※駐車場は70台ありますが、なるべく公共交通機関をご利用ください。

■沼津市民文化センター

所在地：沼津市御幸町15-1



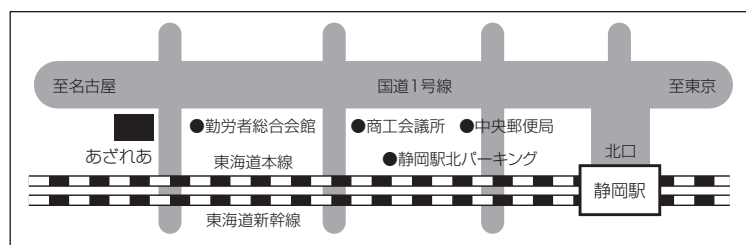
交通案内

1. JR沼津駅南口より徒歩20分。
2. JR沼津駅南口からバス（バス所要時間約7分）。

| のりば | 会社名 | 最寄りの停留所 |
|-----|----------|-----------|
| ④番 | 沼津登山東海バス | 文化センター |
| ⑥番 | 沼津登山東海バス | 文化センター北 |
| ⑦番 | 伊豆箱根バス | 市役所前・裁判所前 |

■静岡県男女共同参画センターあざれあ

所在地：静岡市駿河区馬淵1-17-1



交通案内

1. JR静岡駅北口から徒歩8分。

地域に開放して いる学内施設

静岡大学では、地域に開かれた大学を目指し、キャンパス内の施設を地域の皆様にご利用いただけるよう、施設開放を進めています。

次に挙げた施設は、開館時間中であればどなたでも自由にご利用いただけます。もちろん無料です。

大学が地域の中でより身近な存在となるための拠点として、より使いやすい施設になるよう今後もよりいっそう工夫を重ねていきます。ぜひお気軽にお越しください

■生涯学習教育研究センター

静岡キャンパス

静岡大学生涯学習教育研究センターは、地域への大学開放と生涯学習の普及をより一層推進させるために設置された学内共同教育研究施設です。

生涯学習に関する教育や研究を行い、大学開放事業や地域連携事業などに取り組んでいます。

センター内には、生涯学習に関する書籍・雑誌・報告書などの閲覧ができる資料室があります。また、生涯学習・大学開放に関する相談事業を行っています。講師派遣や企画のご相談がありましたら、気軽にご相談下さい。



（問合わせ） まずは電話・FAX・メールにてお問い合わせください。

電話：054-238-4817 [平日9:30~16:30]

FAX：054-238-4295

メール：LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

（HP） <http://www.LC.shizuoka.ac.jp/>

■附属図書館（静岡本館・浜松分館）

静岡キャンパス

浜松キャンパス

図書館資料の閲覧を希望される方は、簡単な手続きで入館できます。利用者登録をおこなえば、図書の貸出が受けられる図書館利用票が発行されます。調査に、研究に、生涯学習に、静岡大学附属図書館をお役立てください。



静岡本館



浜松分館

（開館時間） 月～金：9:00～22:00（休業期は9:00～17:00）

土・日・祝日：10:00～19:00（休業期は10:00～17:00、試験対応期は9:00～21:00）※試験対応期は、閲覧席の利用を制限する場合があります。

（休館日） 年末年始（12/28～1/4）、大学入学試験日、その他臨時休館日

（問合わせ） 静岡本館：☎054-238-4479

lib-infsrv@adb.shizuoka.ac.jp

浜松分館：☎053-478-1391

ohlib@ipc.shizuoka.ac.jp

（HP） <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>

■ キャンパスミュージアム

静岡キャンパス

静岡大学の教育・研究の成果を公開している博物館です。学内のさまざまな資料を整理・保存し、再利活用することを目的として、1996年に設立されました。開館時間中はどなたでも見学できます。



（開館時間） 12:00～15:00

（開館日） 通常授業期間中の毎週火・木曜日

（問合わせ） ☎054-238-4264 / kenkyu2@adb.shizuoka.ac.jp

（HP） http://www.shizuoka.ac.jp/chiki/c_museum/

■ 高柳記念未来技術創造館

浜松キャンパス

テレビジョンの開発に世界で初めて成功した高柳健次郎氏（静岡大学名誉博士）を顕彰した博物館です。テレビジョンの歴史に関する展示を中心に、最新技術や未来技術、本学の教育研究の成果なども展示・紹介しています。



（開館時間） 10:00～16:00

（休館日） 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）、年末年始、その他（大学入学試験日、展示入替日など）

（問合わせ） ☎053-478-1402

tmh@ipc.shizuoka.ac.jp

（HP） <http://www.nvrc.rie.shizuoka.ac.jp/takayanagi/>

発 行

静岡大学生涯学習教育研究センター

※2012年4月より「イノベーション社会連携推進機構」に改組されます

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

☎054-238-4817 FAX054-238-4295

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

URL: <http://www.Lc.shizuoka.ac.jp/>